

道路案内標識に関する アンケート調査について

平素より内閣府沖縄総合事務局の行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、沖縄総合事務局 開発建設部では沖縄県内の道路標識デザインの改善を検討しており、道路利用者の方々の幅広い意見を取り入れた道路標識を作成して参りたいと考えております。

そこで、**令和3年11月4日（木）～令和3年12月12日（日）**の期間、道路標識の見え方や標識の枠などについて、WEB上でアンケートを実施しております。

是非、アンケート調査の趣旨にご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



回答はこちらの
QRコードから



●回答の手順● 以下の3ステップで簡単に回答できます

1

・QRコードから『沖縄しまたて協会』のホームページへアクセス

2

・お知らせ欄よりアンケート回答フォームへリンク

3

・動画を視聴し、アンケートに回答する（3分/5問程度）

事業主体：沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課

調査機関：一般社団法人 沖縄しまたて協会

URL <https://www.shimatate.org/>

現在設置し活用している「114系道路案内標」は、沖縄ブロック道路標識適正化委員会で設職しております。

視認性や可読性を考量したデザインが求められ、標識としての在り方を再検討する必要性が出てきました。114系道路案内標識は、国道、県道等において著名地点への誘導を目的として設置されています。走行車対象の標識で、瞬時の判断が必要となります。

114系道路案内標識の表示板には4つの要素があり、枠、ピクトグラム（絵文字）、文字（著名地点名称、英語表記、距離）、矢印の記載が掲示されています。

この標識は、昭和62年に制定され現在でも活用されています。約34年間変更がなく、また細かな規定がないこともあり、視認性や可読性を確認する必要があります。現代はユニバーサルデザイン※を多く取り入れる企業や自治体が多く「使いやすい、分かりやすい」が重要でそれを意識したデザインが多く活用されています。

今回のアンケートを行うことで改善を検討しております。

※「ユニバーサルデザイン」とは、1980年代にアメリカのロナルドメイス博士が中心となって提唱した。「文化や国籍、年齢や能力、状況などにかかわらず、できるだけ多くの人が使いやすいように、製品や建物・環境をデザインする」という考え方です。



今回のアンケートの質問内容は5つあります

- ①標識枠
- ②表示内容の並び方
- ③文字の揃え方
- ④矢印の形
- ⑤文字の視認性

回答方法

走行車より見える映像から、著名地点案内標識を確認し、質問に対する選択肢に丸をつけ、その理由を記載してください。

視認性（よく見えること）や可読性（読みやすいこと）を重視し、率直な意見をお聞かせください。